



**上越妙高駅の
駐車場不足への対応を**
滝澤 陽一（つなぐ）



Q 今冬の大雪で上越妙高駅の駐車場が不足し、新幹線に乗車できなかったという話を聞くと、市に対してそのような苦情や連絡はあったか。

A 今冬の大雪により、駅周辺の市営・民営合わせて約900台分ある駐車場のうち駐車可能な台数が約620台分に減少し、駅利用者への影響が生じた。市には苦情等が数件寄せられたほか、民間駐車場の運営事業者にも同様の苦情が多く寄せられたと聞いている。

Q 駐車場不足について、市の責任で降雪の影響が少ない立体駐車場などを整備する必要があると考えるがどうか。

A 駐車場の利用動向の変化はもとより、妙高地域のリゾート開発に伴う需要増加が見込まれることを踏まえ、現在、今後の上越妙高駅周辺の駐車場の在り方を含む方向性について検討を進めている。今後、駅利用者にとって必要な機能の確保を図っていく。

公共施設利用料の受益者負担の適正化を

Q 受益者負担適正化における利用料減免基準の見直しは、その必要性を市民にしっかりと説明し、理解や協力を得るべきではないか。

A 減免の適用を受けている団体等に対して、施設の収支状況を説明するなど、ご理解をいただけるよう取り組んでいく。



**税源涵養のための
企業誘致を**
こんどう 彰治（市民クラブ）



Q 税源涵養のためには企業誘致が必須であると考えますが、当市の現状はどうか。

A 大潟工業団地の整備を進め、新たな工業用地の確保に向けた整備方針の策定に取り組んでいる。また、若者や女性、子育て世代の働く場の創出に向け、IT企業の更なる誘致を図る。

Q 自主財源を確保するため、本社機能のある企業に進出してもらいたいと考えるがどうか。

A 本社機能の誘致は、非常に厳しい。分社化などを念頭に置き、誘致活動を行う。

人口減少を食い止める施策は

Q 地元への定住、就職を図るため、大学などを卒業した学生を対象とした奨学金返還支援制度を、中退した学生にも拡充すべきではないか。

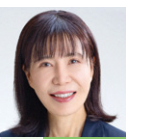
A 実態を把握し、それを踏まえて検討したい。人口の社会減は若年女性の転出超過が大きな要因と考えるが、その対策はどうか。

Q 子育て支援策の拡充やリスキリング機会の提供など、総合的な対策を講じる。

儀明川ダム本体工事の早期着手を

Q 公約である早期着手をどう実現するのか。

A 令和7年11月に国土交通省へ流域治水対策の推進を要望した。事業の推進に向け、期成同盟会と連携しながら、国・県に働きかける。



**除雪困難な人も安心して
生活できる仕組みを**
中土井 かおる（市民クラブ）



Q 自宅前の除雪が困難な市民について、除雪支援者登録制度のようなマッチングの仕組みづくりを行ってはどうか。

A 地域の状況変化を見据え、地域からの要望や意見の把握に努めるとともに、県内の取組事例なども参考にしながら、導入可能性を検討する。



町内会等のデジタル導入の支援を！

Q 地域のデジタル化により、災害時等に近隣住民の状態把握が迅速にでき、見守り体制づくりにも有効と考えるが、支援を行ってはどうか。

A お困りの町内会に対し、デジタル活用による円滑な連絡体制の構築に寄与できるよう、助言や情報提供に努める。

命を守る個別避難計画を作ろう！

Q 避難が困難な人の避難計画を町内会のみで作成するには限界があるため、専門職が関与すべきと考えるがどうか。

A ケアマネジャー等に対し、日常業務

の中で把握している要支援者の配慮事項を、必要に応じて避難支援関係者と共有するため、日頃から地域と顔の見える関係を築くように依頼した。今後も専門職が関与する中で、より実効性の高い個別避難計画の作成に取り組む。

